

よくわかる！

**病害虫防除
マニュアル
トマト・
ミニトマト編**

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしよう！



日本曹達株式会社

トマト・ミニトマトの生育にあわせて、適切な防除を! 日曹の製品がお役に立ちます。

[] RACコード
 ハウスで使用
 するくん煙剤 「トマト」にのみ登録
 「ミニトマト」の登録なし

土壌病害・ネコブセンチュウには…

バスアミド[®] 微粒剤



使用時期/は種又は定植21日前
 使用回数/1回

適用病害虫名など	使用量	使用方法
苗立枯病 (リゾクトニア菌)	200~300g/m ³	所定量を加え 十分混和
紅色根腐病	30kg/10a	所定量を 均一に散布後 土壌と混和
萎凋病、白絹病 褐色根腐病 根腐萎凋病 半萎凋病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20~30kg/10a	
青枯病	30~60kg/10a	

定植期の害虫には…

モスピラン[®] 粒剤

(4A)



適用害虫名	使用量	使用時期/使用回数	使用方法
アブラムシ類	0.5g/株	生育期 但し、 収穫前日まで/3回	株元散布
アブラムシ類 コナジラミ類 トマトハモグリバエ	1g/株	定植時/1回	植穴土壌混和
コナジラミ類		定植前日~ 定植当日/1回	株元散布

アベイル[®] 粒剤

(4A, 28)



適用害虫名	使用量	使用時期/使用回数	使用方法
アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	2g/株	育苗期後半~ 定植当日/1回	株元散布

ベリマーク[®] SC

(28)



適用害虫名	使用量		使用時期/使用回数	使用方法
	薬量	希釈水量		
アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 トマトキバガ	400株 当り 25ml	400株当り 10~20ℓ (1株当り25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日 /1回	灌注
コナジラミ類		400株当り 20~200ℓ (1株当り50~500ml)	定植直後 /1回	株元灌注

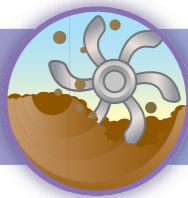
(注意:定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内)

生育期の害虫には…

適用害虫名	製品名	希釈倍数 または使用量	使用時期/ 使用回数	その他の適用害虫
アブラムシ類 アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤 (4A)	2000倍	前日/3回	-
コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤 (4A)	2000倍	前日/3回	-
	モスピランジェット (4A)	50g/400m ³	前日/3回	ミカンキイロアザミウマ
オオタバコガ	コテツフロアブル (13)	2000倍	前日/3回	トマトサビダニ、 ナミハダニ、 ミカンキイロアザミウマ
	フェニックス顆粒水和剤 (28)	2000~4000倍	前日/2回	ハスモンヨトウ



土壌消毒



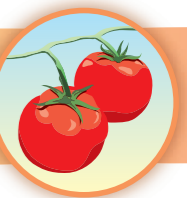
定植期



生育期(本圃での散布)



収穫期



生育期の病害には…

適用病害名	製品名	希釈倍数 または使用量*	使用時期/ 使用回数*	その他の 適用病害*
灰色かび病	ミギワ10フロアブル (52)	1000倍	前日/3回	菌核病
	ファンベル顆粒水和剤 (M7,11)	1000倍	前日/3回	うどんこ病、すすかび病 葉かび病、菌核病
	ゲッター水和剤 (10,1)	1000~1500倍 (1500倍)	前日/5回 (前日/3回)	菌核病 葉かび病
	フルピカフロアブル (9)	2000~3000倍	前日/4回	-
葉かび病	ブロードワン顆粒水和剤 (1,9)	1500倍	前日/4回	菌核病
	ファンタジスタフロアブル (7)	1000~1500倍	前日/3回	菌核病 葉かび病
すすかび病	ベルコートフロアブル (M7)	2000~4000倍 (4000倍)	前日/3回 (前日/2回)	うどんこ病、灰色かび病 (斑点病)
	トリフィン水和剤 (3)	3000倍	前日/5回	葉かび病 (3000~5000倍)
うどんこ病	トリフィン乳剤 (3)	2000倍	前日/5回	すすかび病 葉かび病
	パンチョTF顆粒水和剤 (U6,3)	2000倍	前日/2回	-
疫病	パンチョTFジェット (U6,3)	50g/400m ³	前日/2回	-
	ベトファイター顆粒水和剤 (27,40)	2000倍	前日/3回	-
	エトフィンフロアブル (22)	1000倍	前日/4回	-
	ムッシュボルドーDF (M1)	500倍	-/-	-
かいよう病	パンチョTFフロアブル (U17)	1000倍	前日/3回	-
	マイコシールド (41)	1000~2000倍	※	-



TOPIC 1 その他の場面で役立つ製品

■前作が終わったら…

キルパー[®]

使用量/40~60ℓ/10a
 使用時期/前作の栽培終了後から
 残渣撤去まで 但し、は種
 又は定植の15日前まで
 使用目的/古株枯死、
 ネコブセンチュウ蔓延防止、
 アザミウマ類蔓延防止、
 コナジラミ類蔓延防止など
 土壌消毒にも使えます。



■かいよう病、茎えそ細菌病、 軟腐病防除に生物殺菌剤

マスタピース[®] 水和剤

1000~2000倍
 使用時期/前日まで
 使用回数/-
 ※(株)ニッソーグリーン取扱い品



■カルシウム欠乏によるしり腐症、新葉の黄化には…

カルクロン[®] または アグリメイト[®]

[カルクロン200倍又はアグリメイト 500倍]を3~4回葉面散布します。



■剪定用ハサミの消毒には…

ケミクロンG[®]

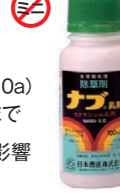
500倍での使用が
 効果的です。



■一年生イネ科雑草の防除には…

ナブ[®] 乳剤(1)

使用量/150~200ml
 (希釈水量/100~150ℓ/10a)
 使用時期/収穫14日前まで
 登録作物にかかっても、影響
 はありません。



TOPIC 2 マルハナバチに対する影響日数

種別	製品名	安全日数
殺菌剤	エトフィンフロアブル	影響なし
	カンタスドライフロアブル	影響なし
	ゲッター水和剤	1日
	トップジンM水和剤、ゾル トリフィン水和剤	1日
	トリフィン乳剤	影響なし
	パンチョTF顆粒水和剤	影響なし
	ピシロックフロアブル	影響なし
	ファンタジスタ顆粒水和剤	影響なし
	ファンベル顆粒水和剤	影響なし
	フルピカフロアブル	影響なし
殺虫剤	ブロードワン顆粒水和剤	影響なし
	ベトファイター顆粒水和剤	影響なし
	ベルコートフロアブル	影響なし(2000倍)
	ベルコート水和剤	影響なし(3000-6000倍)
	ミギワ10フロアブル	影響なし
	アベイル粒剤	1日
	コテツフロアブル	9日
	フェニックス顆粒水和剤	1日
	ベリマークSC	1日
	モスピラン顆粒水溶剤	1日
くん煙剤	モスピラン粒剤	1日
	ダコニールジェット	1日
	トリフィンジェット	1日
	パンチョTFジェット	1日
	モスピランジェット	1日



マルハナバチ

*影響なし:薬剤が乾けば導入可能 *翌日導入可:散布翌日の導入が可能
 *日数記載:記載の日数以上あけてから導入が可能



トマト・ミニトマト病虫害図鑑

病害

【青枯病 *Ralstonia solanacearum*】

被害残査とともに土壤中に生存していた病原菌が長期間生存して伝染源となる。また、収穫時や剪定時にハサミの切り口からも伝染する。地際部茎の導管が褐変し、地上部が数日でおおれ、回復しない。(青枯れ症状)



急激に株が萎れる



導管部が黒褐変

適用薬剤 バスアミド微粒剤

【うどんこ病 *Leveillula taurica, Oidium sp., Pseudoidium neolycopersici*】

発病植物上で形成された分生子によって伝染。葉にうどんこ状の病斑を生じる。施設栽培で被害がある。



発病葉



発病進展葉

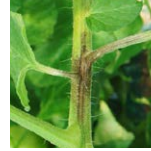
適用薬剤 バンチョTF顆粒水和剤、ベルクートフロアブル など

【疫病 *Phytophthora infestans*】

被害作物の菌糸によって土壤中で越冬し、伝染源となる。また、パレイショの発病茎葉から飛散した胞子によっても感染する。葉、果実、茎に褐色のややく窪んだ病斑を生じる。



褐色水浸病斑



発病茎



発病果

適用薬剤 ビシロックフロアブル、ベトファイター顆粒水和剤 など



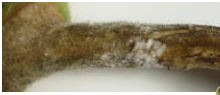
発病葉(褐色の不整形病斑)

【菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*】

地面に落ちた菌核が伝染源となる。茎や果実に灰白色綿状のかびを形成し、後にネズミ糞状の菌核を生じる。



発病茎



白色綿状菌糸を生じる



発病茎内の黒色菌核



発病果

適用薬剤 トップジンM水和剤 など

【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

圃場に残った発病葉・発病果上の病原菌や、地表面に菌核として残ったものが伝染源となる。次期作では、そこから胞子が飛散して伝染する。果実、茎、葉に灰色かびを密生した病斑を生じる。



初期病斑



発病茎



発病幼果

適用薬剤 ゲッター水和剤、ミギワ10フロアブル など

【葉かび病 *Passalora fulva*】

病原菌は各種資材に付着して越冬。気温20～25℃で多湿条件下での発生が多く、とくに施設栽培での被害が大きい。葉裏に灰色ピロッド状のかびを生じる。



発病葉(葉表)



発病葉(葉裏)

適用薬剤 トリフミン水和剤、ベルクートフロアブル など

害虫

【オオタバコガ *Helicoverpa armigera*】

幼虫は、葉を食害するほか、新芽、花蕾、果実、茎の中などに潜り込んで食害する。広食性。



中齢幼虫



幼虫の茎内侵入口



幼虫の茎内侵入



幼虫による果実食害



成虫

適用薬剤 コテツフロアブル、フェニックス顆粒水和剤

【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

成虫、幼虫とも葉から吸汁し、作物の生育を抑制。排泄物によるすす病を発生。



2齢幼虫及び4齢幼虫



成虫



排泄物によるすす病

適用薬剤 モスピラン顆粒水溶性 など

【ジャガイモヒゲナガアブラムシ *Aulacorthum solani*】

葉や果実から吸汁し、作物の生育を抑制する。モザイク病を媒介する。



成虫



寄生した葉

適用薬剤 ベリマークSC、モスピラン顆粒水溶性 など

【トマトサビダニ *Aculops lycopersici*】

加害による果実さび症状、肥大にともなう細かい亀裂、葉の奇形、変色、芯止まりなど、乾燥条件下で多発する傾向がある。



被害果(細かい亀裂)



成虫、幼虫、卵

適用薬剤 コテツフロアブル

【トマトハモグリバエ *Liriomyza sativae*】

成虫は卵を葉肉に1個ずつ産み付ける。幼虫は葉肉内を潜孔しながら食害する。寄生範囲が広い。



成虫



成虫の産卵痕



幼虫による被害と成虫

適用薬剤 アベイル粒剤、モスピラン粒剤 など

【ミカンキロアザミウマ *Frankliniella occidentalis*】

夏には黄色型、冬には褐色型が多い。子房への産卵では、幼果のときに産卵痕が凹んで周囲が白く膨れ、成熟後も褐色の斑点として残る。



成虫



産卵によるトマト果実の白ぶくれ症状

適用薬剤 ベリマークSC、コテツフロアブル など

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

お問合せ (03) 3245-6178

(平日9～12時、13～17時、土日祝日を除く)



HPはこちら